

科目名	英語表現Ⅱ		学年・必修	3年	選択	使用教科書	『Revised Vision Quest English Expression II Ace』(啓林館)			
	単位数	2				使用副教材	『英作文基礎10語ドリル』(聯合文庫) 『Listening Box 共通テスト対策リスニング10分+30分(冊子/短講)』(冊子/短講) 『啓林館』			
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ●外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」の言語活動及びこれらをつなげた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る基礎的な資質・能力を身に付ける。 ●物事に関する紹介や対話や説明・物語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを理解し、概要や要点をとらえ、それに基づいて情報や考えなどについて話し合ったり、意見を交換したり、簡潔に書くことができる。 									
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ●基本的にAll Englishで授業を行います。 ●英語は自分で考えながら話して、書いて、読んで、聞くことで、学ぶことができます。たくさん間違えて、たくさん学びましょう。 ●英単語はインプット(覚える)とアウトプット(確認する)を何度も繰り返して覚えましょう。継続は力なりです。 ●英単語や英文の意味は和訳するのではなく、英語で考え英語で説明できるように意識した方が、効率よく英語を吸収できます。 ●文法は定型文を暗唱し、なぜそういう構造なのかを理解することで、より深い知識を身に付けることができます。 ●発表する際は、原稿を丸暗記するのではなく、話す内容を理解し、流れや要点を押さえて自分の言葉で発表できるようにする癖を意識して付けることで、英語のスピーキング力が飛躍的に上がります。 ●スタディサプリを活用して、苦手問題を克服したり、検定対策をしたり、大学入試に備えましょう。 									
学習評価	学習評価			評価方法						
	評価の観点	科目の評価の観念の確立			評価方法		割合(%)			
	a	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。	1	振り返りシート、授業態度	授業への取り組み具合で評価します。	5			
	b	外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	2	発表の成果	スピーチ、ディベート、ディスカッション等活動のパフォーマンスを評価します。	25			
c	言語や文化についての知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	3	調査、小テスト	概要を把握する力、詳細を把握する力などを主に調査で評価します。	45				
				4	小テスト、調査	英語の運用の下支えとなる知識やその理解を主に小テストで評価します。	25			
単元・単位の 評価	該当する単元(教材)	関連する教科・科目	教科書以外の観点や関連する学習活動の例(達成状況を評価する際の留意事項)							
	ライティング演習	総合的な探究の時間	総合的な探究の時間におけるレポート作成において、一定の題について自身の意見を表現することが求められる。「つながり」と「まとまり」のある英文を書く演習を行っているため、より論理的かつ説得力ある記述をすることが可能となる。							
学期	月	単元名(教材)	配当時間	学習の目標・ねらい	学習評価		学習内容と学習のポイント	身に付けられる Okushiriyety 5.0		
前期	4	1. 自己紹介・シラバスの確認 2. Lesson 13 制服に賛成? 反対?	1 4	1. 自己紹介し、質問できる 2. 習熟度を確認する 3. 数量を表す語句や名詞を前から修飾する方法を意識して詳細を説明することができる。	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	1. 自分を表現する語彙をまとめておきましょう。 2. 自分の伸びしろを確認しよう。 3. 自分がすでに持っている表現を活用しながら、文法・文の種類の理解しよう。	デザイン力
	5	1. Lesson 14 ローマの魅力 2. Lesson 15 思い出の写真	4	1. 名詞の後置修飾を意識して詳細を説明することができる。 2. 関係詞を意識して詳細を説明して詳細を説明することができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	名詞を修飾する方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	自己管理能力
	6	Lesson 16 科学技術の利用	5	副詞の役割を意識して詳細を説明することができる。	○ 1	○ 2	○ 3	○ 4	名詞以外を修飾する方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	情報活用能力
	7	Lesson 17 携帯電話は便利だけど...	5	副詞の役割を意識して詳細を説明することができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	副詞を使用する機会はいくつもあります。代表的な接続副詞を覚え、文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	チーム力
	8	Lesson 18 犬派? 猫派?	3	比較の機能やその役割を意識して詳細を説明することができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	比較する表現方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	ひらめき力
	9	Lesson 19 思い出深いプレゼント	4	最上級やその役割を意識して詳細を説明することができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	最大のものを表す方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	当事者意識
	10	Lesson 20 インターネットの問題点	5	否定表現を意識して詳細を説明することができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	否定を表現する方法は英語には何通りもあります。文脈に応じた適切な表現を選択できるように『どのようなとき』にそれを使うのかに注目しましょう。	実践力
	11	Part 2 Lesson 1 文と文をつなぐ Lesson 2 ロボットの有用性 Lesson 3 英語を学ぶ意義 Lesson 4 田舎と都会	4	パラグラフライティングを通して「まとまり」と「つながり」を意識して文と文をつなぎ、自分の考えを適切に伝えることができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	100 words 以上の英語を書きます。そのためには、思いついた英文をただ書くだけでは到達しない場合があります。「まとまり」と「つながり」を意識しましょう。	デザイン力
	12	Lesson 5 深刻な貧困問題 Lesson 6 ベジタリアン	4	パラグラフライティングの視点を援用し、「まとまり」と「つながり」を意識して英文を要約することができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	要約は削るべき情報とそうではない情報の区別が必要です。筆者の伝えたいメッセージを汲みとりましょう。	感受性
	1	Lesson 6 ベジタリアン	4	パラグラフライティングの視点を援用し、「まとまり」と「つながり」を意識して英文を要約することができる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	要約は削るべき情報とそうではない情報の区別が必要です。筆者の伝えたいメッセージを汲みとりましょう。	発信力
後期	6 10	ライティング演習	4	一定の題について、「つながり」と「まとまり」のある英文を書くことができる。抽象と具体、接続詞の使い方などを理解し、自身のライティング能力を向上させる。	○ 2	○ 3	○ 4	○ 4	パラグラフライティングをする機会を設けますので、論理の流れを言葉で表現できるように語彙や表現を整理しておきましょう。文法を理解して、表現につながりましょう。	レジリエンス力
	4 ~ 3	Part 3 Lesson 1 プレゼンテーション Lesson 2 ディスカッション Lesson 3 ディベート	毎レッスン 15分程度	与えられた題について自分の意見を述べたり、役割に応じてロールプレイを行うことで、ディベートにつながる基礎力を養う。	○ 1				発表の後は、振り返りの時間をとることがあります。言ったこと、言いたかったけど言えなかったことをメモし、調べることで少しずつ話せる英語が増えていきます。	課題発見力
	4 ~ 3	Listening Box 共通テスト対策リスニング10分+30分	13	英検準2級-2級レベルの音声聞き、内容を把握できる。	○ 1	○ 2			英検準2級-2級レベルの音声の内容把握、書き取り、音読を行う。	ひらめき力